

令和3年度京都府中丹地域戦略会議開催結果（概要版）

1 日 時 令和4年3月17日（木） 15時～16時30分

2 場 所 綾部市ものづくり交流館多目的ホール

3 出席者 【委員】出席10名（欠席2名）

【オブザーバ】各市企画担当課長等

【中丹振興局】綾城局長、平田副局長、和久地域連携・振興部長、
高野健康福祉部中丹東保健所次長、岡田農林商工部長、
西村建設部長、白波瀬建設部中丹西土木事務所長

4 主な意見等

《全体》

- ・コロナ禍で先行きが不透明ではあるが、情報発信の仕方やその影響がどのように拡がっているのかなど技術の発達が急速に進んでいく中で、その動きに対応できる地域政策をどのように立てるのか、議論していくことが必要。
- ・地域振興計画を検討するにあたり、コロナによる弊害やコロナにより分断が生じ、支援が届きにくくなった層も新たに出てきているので、考慮すべき。

《防災》

- ・風水害や地震だけでなく「雪害」という想定していなかった災害も発生しており、気候変動がどこまで進行するか見通しのつきにくい世の中であることを前提に更に議論を深めることが必要。
- ・ハザードマップは国、府、市町村で分担して作っているの、それを全て重ね合わせてどうすべきか、近隣市に避難した方が早いといったこともある。

《UI ターン・移住》

- ・UI ターンしやすい年齢層や理由が把握できるぐらいの具体的なデータを取って、目標数値を定め、どう増やしていくかを考えるべき。
- ・地域創生プログラムで、福知山市や綾部市の空き家を使って学生が地元の方々と相談してリノベーションし、移住につなげるといった取組を行っているが、府と市がそれぞれ予算をつけて取り組んでいるので、その役割分担が非常に重要と考える。

《人材確保》

- ・若者が集う地域づくりに向け、人材確保が大変厳しい状況にある社会福祉業界も一緒に取り組んでいくことが重要。
- ・産業創出イノベーション交流会について、デジタル人材やデジタルに特化した商品づくり・新規産業につながる場にもしてほしい。

《子育て》

- ・福知山市内における企業の子育て環境と子ども食堂の状況についてニーズ調査を行ったが、思いはあるがなかなか出来ないという意見があった。来年度以降は、企業や社会福祉協議会と連携した取組をしてほしい。
- ・近年では「元気な高齢者」も多いので、年齢にとらわれず高齢者も子育て支援やまちづくりに参画していける取組をすすめてほしい。

《観光》

- ・「中丹いちおし商品」などファン獲得の取組は、どこをターゲットにどう売り込むのかの戦略をもう少し練ったほうがよい。
- ・アフターコロナでアウトドア事業やアドベンチャーツーリズムは確実に増えていくと考えられるが、e-Bike については台数が限られているので、3市で融通しあうや乗り捨てができるなど、広域でツアー展開ができる仕組みづくりを進めてほしい。
- ・綾部だけでなく、福知山、舞鶴とをつなぐロングトレイルでの開催を検討できるよう協力してほしい。

《林業》

- ・木を伐採・搬出し、そこに再植林を行うという元々の林業の流れが、木材価格の低迷により伐採後の植林が数十年できていない状況が続いており、災害の原因にもなっているため、今回新規事業の「循環型林業未来創造事業」の方向性は良い。